

汚染水漏れという深刻な事態に直面している東京電力福島第一原子力発電所事故。

福島映像祭2013 in Wasedaでは、特に福島原発事故とジャーナリズムの関係を考えるにふさわしい映像をピックアップし、上映とトークを行います。

福島映像祭 2013

in Waseda

2013 **09.26** THU 11:30 Open
12:00 Start
早稲田大学大隈記念講堂小講堂

上映作品は「東電テレビ会議」や、唯一、原発の爆発の瞬間を捉えた福島中央テレビの内側を検証した「原発水素爆発、わたしたちはどう伝えたか」など。

トークゲストは、福島中央テレビの報道制作局長佐藤崇さんと

「プロメテウスの罫」で原発事故直後の官邸や東電を取材した朝日新聞の木村英昭さん。

あの事故はどのような経過だったのか。

福島原発事故を記録し続けること、また伝える中での葛藤や思いをお話頂きます。



11:30	➤ 12:00 - 16:00	➤ 16:10 - 17:00
開場	 『報道ドキュメント 「東電テレビ会議」』 (OurPlanetTV/240分)	 『原発水素爆発、 わたしたちは どう伝えたか』 (福島中央テレビ/47分)
 『Fukushima Reporters』 (福島中央テレビ/50分)	◆シンポジウム◆ 福島原発事故を記録すること、伝えること ＜登壇者＞ ◎ゲスト 佐藤 崇（福島中央テレビ報道制作局長） 木村 英昭（朝日新聞経済部） ◎ファシリテーター 瀬川 至朗（早稲田大学政治経済学術院教授） 白石 草（OurPlanetTV代表）	

〈主催〉早稲田大学政治学研究科ジャーナリズムコース/NPO法人OurPlanet-TV

<http://fukushimavoice.net/2013/09/1274>